

あまた
家に帰れずか

阪神淡路大震災から十年

第五回大阪防災Sウオーク記録集
二〇〇五年一月十五日（土）実施

目次

ご挨拶	1
<報告編>.....	
・ 第五回大阪防災Sウオーク参加者の概要	2
・ 参加者報告	3
災害伝言ダイヤル・災害用伝言板	12
防災の備え	17
大阪中心部の帰宅ルート	22
・ 新聞報道	26
<記録編>.....	
・ 活動の歴史	31
・ トイレマップ	32

題字：得能理佐子

第五回大阪防災 S ウオーク

【開催日】平成17年1月15日

【主催】大阪防災Sウオーク実行委員会

【後援】大阪市・大阪府

【協力】大阪府立健康科学センター、大塚製薬(株)、大阪府警天満警察署、サハイバルウオーク実行委員会、(株)ゼンリン、サニックス、「ふるさ都・夢づくり協議会」



ご挨拶

今年である阪神淡路大震災から10年の月日が過ぎ去りました。
いま、阪神淡路大震災の記憶が多くの人々の心の中から風化しようとしています。私達は「当時の悲惨な経験とそこから立ち上がって街を再生させた生きる力を忘れない」ために「大阪防災Sウオーク」を開催して参りました。

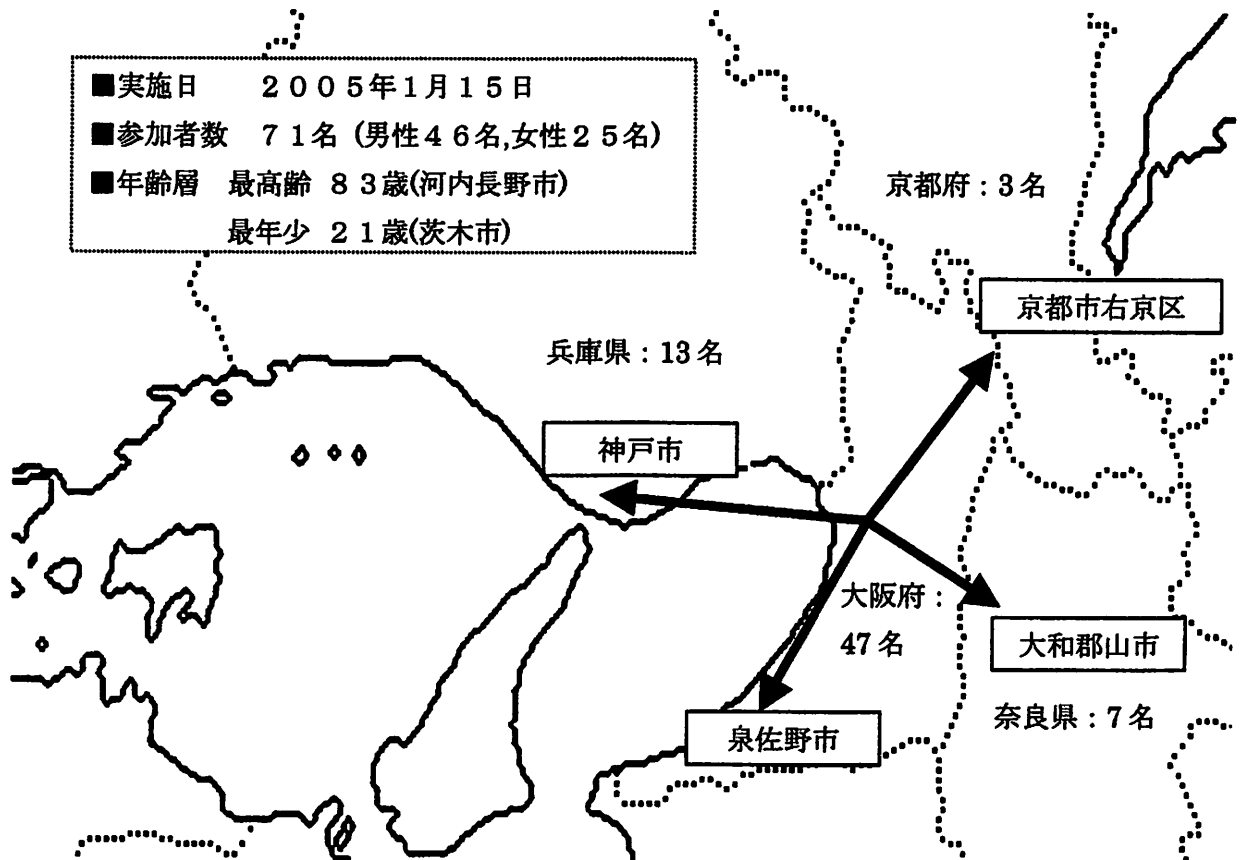
Sウオークの「S」は
サバイバル(生き残る)、
セーフティー(安全)、
サポート(助け合う)
の頭文字です。

「大阪防災Sウオーク」は何時、起きるかもしれない
直下型大震災で交通機関が全てストップした場合を想定して、「帰宅困難者」が大阪市内にある職場や学校から自宅まで歩いて帰る市民主催の防災訓練です。

これからも「自分の身は自分で守る」を合言葉に、一人でも、多くの市民の皆様に参加していただき、自宅までの道路の状況やご自分の体力を確認していただきたいと思っています。

平成17年 6 月 1 日
「大阪防災Sウオーク」実行委員長 山下 正樹

第五回大阪防災Sウォーク参加者の概要



■参加者(順不同 敬称略)

*大阪市

上西 秀樹、片岡 法子、日野 孝、山口、河合 修二郎、小倉 和彦、山本 孝史
 下良 一子、下良 清美、岩原 裕子、梅垣 トモ子、梅垣 光夫、北島 文
 田中 妙、田中 義弥、倭 明美、酒井 典子、須知 裕

*大阪府(除大阪市内)

川瀬 陸臣、中内 亜矢、和田 京子、大西 和恵、吉川 博、中川 靖彦、田中 實
 小野 晃、倉良 支、西野 稔、中谷 兼雄、鎌田 栄吉、西野 知子、西野 宏
 村上 幸則、福垣 壽昭、中村 保宏、毛利 邦三、山本 美知恵、宇野 亜以子
 宇野 高正、伊関 博、上田 剛、渋谷 由美子、渋谷 博之、川畑 恵子、永野 良宣

*兵庫県

大庭 康弘、土井 敏雄、宮本 美奈子、天野 雅夫、藪中 征一、浜崎 久美子
 浜崎 秀俊、松田 信夫、池田 収一、後藤 充男、叶 桂子、圓丸 哲朗

*京都府

馬越 長義、河西 実、光川 寛、稲垣 裕治

*奈良県

林田 清、柳生 圭蔵、岸田 かおる、鴻巣 利英、榊 秀和、野原 耕司、前田 孝夫
 山下 正樹

*岡山県

岡田 笑子

天野 雅夫 (神戸市東灘区)

歩行コース: 大阪市役所→梅田→国道2号線→東灘区田中交差点→十二間道路→自宅

歩行距離: 約30Km

歩行時間: 5時間17分

[感想]

震災Sウォークは初めての参加で、震災の時は西宮北口から自宅まで往復していたので、かなり楽観的に考えていましたが、実際に歩いてみると、武庫川あたりから足がつってきて、芦屋川を越えたあたりから、足が痛くなってきて、十二間道路を下っているときは、フラフラでした。トイレはコンビニで借りつつ歩きました。靴は普段の使っているものを履いていたのですが、足の皮がむけました。体力が落ちているのを実感しました。今後は、なるべく近い距離は歩いて、来年のSウォークではもう少し客観的にデータ集めができるようにトレーニングしておきたいと思います。

池田 収一 (兵庫県西宮市)

歩行コース: 市役所前→御堂筋→北新地本通→桜橋→福島→野田

歩行距離: 約 4Km

到着時刻: 10 時 30 分

[感想]

「途中で頓挫の巻」

今回もスタッフでの参加ということで受付を担当。皆さんを送り出し、後片付けを終えた直後の9時40分に市役所前を西に向けて出発しました。

住まいは西宮なのですが腰痛を抱えている身でもあるので、とりあえず淀川を越え、尼崎を目指して足取りも軽く御堂筋を北へ。

- ・土曜日の朝の様子はいかがと北新地の本通りを西へ。「食道園」、「かに道楽」を眺めながら、閑散とした夜の享楽街を物珍しげに無事通過。
- ・桜橋、出入橋を抜けて、10時にリッツカールトンホテル、スノークリスタルに到着。梅田の西もニョキニョキと 高層ビルが林立し、整然とはしているものの何かトツキにくい感じがしました。きっとあまり来慣れていないためなのかもしれません。
- ・2号線沿いにはチラホラとコンビニが営業しており、トイレの心配はなさそう。
- ・阪神福島駅、浄正橋、JR 新福島駅の表示を見ながら通過。
- ・JR 環状線の高架をくぐって、10時30分に阪神野田駅に到着。
- ・少し足もだるくなり、腰にもやや重みを感じたので、野田駅のマクドナルドで一回目の小休止。
- ・コーヒーを飲みながら、持参の文庫本を読み、一段落したら早や11時20分。
- ・慌てて店を出て、外を歩き交う人を見ると、傘をさしているではないか！！
- ・それを見た途端に気持ちがヘナヘナとなり、今日の天気が悪くなることも頭に浮かび、本日はこれにて終了としてしまいました。

次回はもっと体力的に事前準備をしてから淀川越えに挑戦します。

上田 剛 (大阪府箕面市)

歩行コース: 大阪市役所前→梅田→十三→豊中→自宅

歩行距離: 17.02Km

歩数: 22,705 歩

到着時刻: 12 時 25 分

トイレ 淀川区野中南2丁目 淀川警察野中交番横公園内
豊中市宮山町 公園内

[感想]

住宅街を歩くと道が分からなくなり、結局遠回りとなる 国道等、広い道を歩きましょう

インターネットHPにより参加しました <http://walking.tea-nifty.com/walk/>

上西 秀樹 (大阪市阿倍野区)

歩行コース: 大阪市市役所前→難波→阿倍野

歩行距離: 6.1Km

到着時刻: 10 時 59 分

[感想]

今回初めて参加しました。大阪市役所から御堂筋をまっすぐ南へ難波まで進みました。

災害時にこのコースは安全に歩けるのだろうかと考えながら歩いたのですが、大阪市を南北に歩くのであれば、やはり御堂筋などの大きな道路を通ることになりそうです。地震の後では大きなビルの下は危険が多いことはすぐに気がつくと思いますが、都心部であれば大きな道の脇道であれ、ビルの下を通らなければなりません。御堂筋のすぐ東には心齋橋商店街も続いています。アーケードや店先にある障害物が気になります。

それならば、まだ見通しも良い御堂筋の方が安全のような気がしました。

元来、道路は災害時の緊急避難路の役目もあったと思います。御堂筋ではさらに本線とは別に側道があります。側道であればビルからも距離があり、街路樹の銀杏が落下物から守ってくれるかもしれません。しかし、残念なことに、側道の多くが路上駐車車の車に占拠されていました。まだ昼の時間であったためそれほどひどい状態ではなかったのですが、もし、側道を安全に通行できるのであればよいのですが、これでは災害時に歩行者が安全に通行することは難しいと思われる。

災害時に備える意味でも通常時からの違法駐車は厳しく取り締まって欲しいものです。難波から阿倍野までは細い路地を辿りましたが、後でコースを確認すると、ずいぶん無駄なコースを歩いていました。やはり、災害時など緊急時には地図なども無く、広くてまっすぐな道を選ぶべきだと悟りました。主要道路には自動車のための行き先表示が充実していて、地図がなくとも目的地に向かって進むことができます。少し横道にそれるともう表示が無く、知らない土地であれば目的の方向を探すのは困難です。

自動車のためだけではなく、歩行者のための表示や案内の必要性を感じます。

途中、Sウオークに参加されておられる方で、藤井寺まで歩く方と少しご一緒させていただきました。私は、自宅まで1時間ほどで、帰り着いた時はまだ雨も降っていませんでした。遠くまで雨の中、歩かれた方もおられたようですね。ご苦労様でした。

圓丸 哲朗 (兵庫県神戸市)

歩行コース: 国道2号線 9:46 大阪市役所→福島→野田→淀川→歌島→神崎川→尼崎→
武庫川→夙川→芦屋川→住吉川→14:58 御影

歩行距離: 約 27Km

歩行時間: 5時間 15分

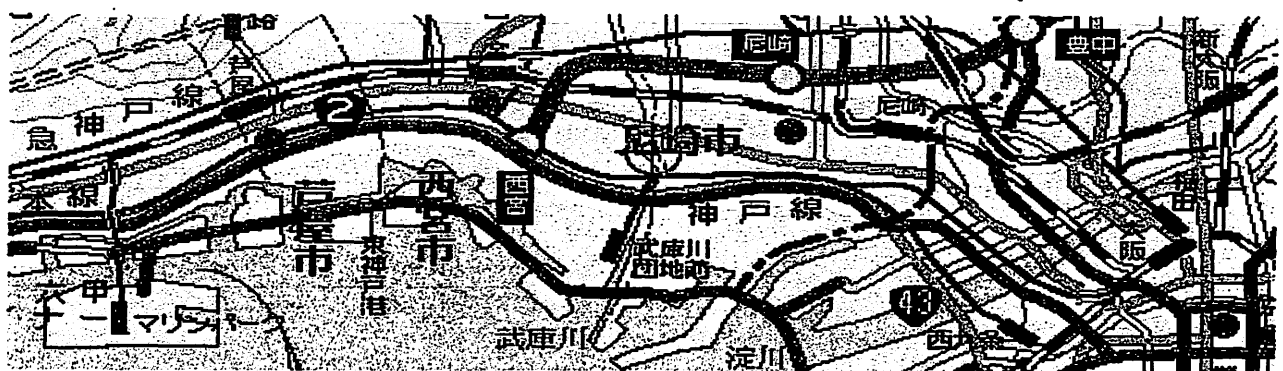
[感想]

10 時前に神戸方面を目指して、出発。初めは思ったより暖かく、どちらかという厚着しすぎたかと思うぐらいで、例年寒い淀川も快調に通過。この調子では三宮までと思っていたが、尼崎付近を歩いているころから、雨が降り出して来た。とりあえず手にしていたカメラをバッグにしまい込んで、ピッチをあげるも雨はだんだんと強くなって来るし、気温も下がってきた。武庫川付近で、Aさんが休憩しているのに合流。出発のときに頂いたカロリーメイトと非常用水を補給。そこへMさんも合流されて、3人で神戸方面へ向かう。

雨がますます強くなってきたが、傘を持っていなかったのも、フードを下げて歩くが、歩道が濡れていて、滑るため思うように早く歩けない。しかし道連れがいたので、寒い中でも歩き続けられたと思う。夙川でMさんと分かれ、東灘区に入り、田中町でAさんと別れて、一人で西に向かうが、びしょぬれ状態で、結局、三宮行きは断念。御影で自宅の方に足を向けた。

トイレは、まずどこにあるか分かりづらいし、路沿いにあるものも休日ゆえに使えないものとかがあり、ガソリンスタンドやコンビニのトイレ開放は極めて重要であると感じた。

トイレ表示はもっとあっても良いような気がする。この辺はここ数年整備されていない。むしろレベルが低下しているような気がする。



2005/1/15	9:46	出発
2005/1/15	10:06	福島
2005/1/15	10:20	野田阪神
2005/1/15	10:28	淀川
2005/1/15	10:49	歌島
2005/1/15	10:58	神崎川
2005/1/15	11:06	兵庫県
2005/1/15	11:31	尼崎雨ふりだす
2005/1/15	12:20	武庫川通過
2005/1/15	12:51	アサヒビール通過
2005/1/15	13:23	夙川
2005/1/15	13:53	芦屋川
2005/1/15	14:35	住吉川通過
2005/1/15	14:58	帰宅

大庭 康弘 (兵庫県芦屋市)

歩行コース: 大阪市役所→大阪駅前→十三→〈府道41号/大阪伊丹線経由〉
尼崎市・下坂部→〈山手幹線経由〉阪急・夙川駅前→自宅

歩行距離: 約24Km

歩数: 約30,000歩

到着時刻: 14時10分

[感想]

第3回以降の参加で、今回で3回目です。初参加は平成14年9月1日で、会社の同僚と2人でJR三宮駅まで、そして2回目の前回は平成15年8月31日で、HAT神戸の「人と防災未来センター」を目的地とする方6~7名と一緒に歩きました。どちらも残暑の厳しい時季で、暑さでバテそうになりながらも、道連れがいたため、最後まであきらめずに歩き通すことができました。

今回は、前2回で経験済みの国道2号線ではなく、阪急寄りの山手幹線(山幹通り)を選んだため、スタート直後から一人で歩くことになりましたが、冬季のため暑さに悩まされることもなく、また前2回より距離が短かったため、途中で降り出した雨の影響もあまりなく、目的地の自宅には体力を残してたどり着くことができました。

私にとってウォーキングは趣味で、自宅を中心として三宮~西宮周辺や六甲山周辺の山道をしばしば歩いており、阪神間をただ歩くだけであれば、地理的にも体力的にもそれ程不安はありません。

しかし、いざ突然の大災害となったらどうでしょうか。常にウォーキングシューズやスポーツシューズを履いているわけではありません。出勤時であればスーツにビジネスシューズで手にはビジネスバッグ、というのが普通です。これが女性だったらスカートにハンドバッグ、しかも靴はハイヒールかもしれません。

この様な格好で、突然の地震災害に見舞われて、ライフラインも道路もガタガタの夜道を家まで歩く...というような最悪の事態を乗り越えられるとしたら、最後にものを言うのは、普段からの心の準備と苦難に立ち向かおうとする気力だけかもしれません。

スタート前に、参加者を代表して挨拶した方が「今更思い出したくないという方もおられますが、風化させてはいけないと思って参加しました」と、おっしゃっていましたが、まったく同感です。

私の場合、家族や住まいは大丈夫でしたが、一番親しかった同僚を地震で失いました。今でも、彼の笑顔を時々思い出しては目頭が熱くなることがありますが、忘れようと思ったことは一度もありません。彼が住んでいた場所には今は別の家が建っていますが、できる限り毎年1月17日にはその場所に行って、そっと手を合わせています。

確かに、2度とは経験したくないことです。

しかし、家族や家を失い、悲しみのどん底から立ち直ってきた方や、今なお必死で立ち上がろうと努力している方、そして何より6,300余名のなくなった方々のためにも、10年前の出来事としてではなく、この10年間に被災地の人々が経験したことを語り継いでいくべきだと思っています。

常日頃からの災害に対する心の準備と、阪神・淡路大震災の経験を風化させないために、せめてこのSウォークのような行事にはできるだけ参加し続けたいと思っていますが、回を追う毎に、参加人数が減ってきていることと、特に一番の被災地だった阪神間からの参加者が少ないというのが残念でなりません。

実行委員会の皆様も、大変なご苦勞をされていることと思いますし、皆様の活動が役立つことがない(つまり災害に見舞われることがない)ほうがいいに決まっていますが、近い将来に大規模震災が発生する可能性が大きいと言われている以上、益々の会の発展を願わなくてはなりません。

小野 晃 (大阪府堺市)

歩行コース: 大阪市役所前→御堂筋本町→道頓堀橋→膝の痛みのために中止

歩行時間: 50分

歩数: 約 4990 歩

疑似体験による3つの確認 Sウオーク事務局

Sウオークは災害時における交通機関が寸断されて機能しない時のシミュレーション(疑似体験)である。その目的は無理をせずに出来る限り速やかに帰宅できるルートを知っておくことにある。この疑似体験を行うことで3つの確認が出来る。

■一つ目は道順である。帰宅時の道順は日ごろ、電車やバス、車に乗っているとおおよそ見当が行くはずだが、実際に歩いてみると、道が大きく迂回していたり、歩くには危険で適さないなど数多くの課題と出くわす。また最近都会では地下鉄での移動も多く、その地点からの方向もまったく予想できないこともあり得る。途中のトイレの場所や水、食料などの補給場所もここでは重要な事項である。また一度歩くことにより次回からは、はじめての道より通常は近く楽に感じられる。これは帰路の途中におけるランドマーク(道しるべ)を知っておくことで、スタミナの配分や到着時刻の読みなどが行えるためである。

■二つ目は装備の確認である。

服装や靴をはじめ、今回のようにあらかじめ歩くことが想定された場合でも、そのときの天候や気温によって選択をせねばならない。ましてや突然歩く必要性が生まれたときに、そのような装備をあらかじめ用意できているのか、実際歩いてみると何が必要か体感できる。装備は多ければ多いに越したことはないが、荷物の重量が増加することは負担になる。したがってその人の帰路の長さや状況およびその人の体力により、何をどのくらい持つのが妥当かどうかの確認である。

■三つ目が体力の確認。

突然かなりの距離を歩くとすると自分の体力が何処まで持つか予想できない。そのために一度歩いてみることで、自宅への距離と体力を確認する。年々体力は変化しているが、年に一度はそれをチェックすることも大切である。過去にこのくらいで出来たと思っても、次に同じように行くとは限らない。体力的な限界があれば、全コース歩くのではなく、既存の交通手段との組合せで、帰宅することも検討する。要は通常のルートが遮断された場合に、速やかに帰宅する選択枝を知っておくことがSウオークとして歩いてみる目的である。

片岡 法子 (大阪市鶴見区)

歩行コース： 大阪市役所→天満橋→京橋→寝屋川大橋→放出東二交差点→目的地

歩行距離： 9Km

歩数： ?歩

歩行時間： 2時間

[感想]

12月に引っ越したばかりで駅と自宅との間しか知らないこともあり、どうやって帰宅したものか、はたと困ってしまう。とにかく地図が思い浮かばない。

自宅からの最寄駅は JR 学研都市線「徳庵」。まずは「京橋」までたどりつけば、あとは線路沿いに帰れば何とかなると考える。しかし、京橋までどうやって行けばいいのか。環状線沿いに歩くか、JR 東西線か京阪沿いに歩くか。環状線までは距離があるし、東西線と京阪は地下を通っている。幸い、途中までご一緒してくださる方があるとのことで、中之島の中を東端まで行き、そこから南に渡って天満橋まで行く。天満橋から京橋へ1本で行ける道を教えていただいて、ここからはひとりで歩く。天満橋—京橋間は京阪では一駅。しかし、それぞれ点としては思い浮かぶが互いがつながらないことに気づく。

かつての片町駅から片町線の跡地の側を通ると、大阪市内にして殺風景な街が続いている。人氣もあまりない。ただ、それだけ密集度が低いこともあるのだろうか、かなり遠くからでも京橋の位置はよく分かった。

市役所から京橋までは約1時間弱。ここまできればトイレと地図があるだろうということで、ここで改めて作戦タイム。小腹もすいてきたので、出発の時にもらったカロリーメイトをかじる。後から思うと、京橋を過ぎると食料調達の個所もトイレの場所も極端に少なくなるので、必要なことはここで済ませておく必要がある。

必要な身支度を整え、次に地図を探す。駅の構内には必ずあるのでそこまで行くつもりでいたが、それ以前に周辺の町内図を見つける。それまで知らなかったが、京橋の近くに寝屋川が通っているらしいということが分かる。そういえば、自宅から鶴見区役所に行ったときに寝屋川を渡った記憶がある。電車沿いに歩くというのもあるが、川沿いに歩いても目的地には行けるはず。ということで、寝屋川沿いに東側へ歩く道を選択。

寝屋川沿い北側の道はバス道になっていて、徳庵方面へのバスもこの道を通っていることが分かる。

しばらく行くと「今福小学校」の側を通る。確か、鶴見区も所管している城東郵便局の本局は今福にあったことを思い出し、目的地に確実に近づいていることを確認する。寝屋川沿いに行き続けると目的地よりも北側に出るので、次に南に下る道に合流したらそちらに移動しようとする。

次に見えたのは寝屋川大橋。放出東二丁目の交差点まで南にくんだり、そこから進路を東にとる。しばらく行くと南側に放出の駅前商店街があることが分かった。目的地は放出駅から東へ一直線のところにあるので、かなり近づいていることを確認する。

徳庵方面行きのバス停を通り過ぎるたびに、目的地までの距離もだいたい分かったので、後はまっすぐ歩くだけ。雨もポツポツと降ってきたので帰宅の足を速めた。こういう時は、あとどれだけという目安がきちんと分かるというのは重要だと実感する。

以上、無事、目的地にたどりついた次第である。

鎌田 栄吉 (大阪府高槻市)

「大阪防災 S ウォークは楽しかった」 カマちゃん

[感想]

大阪防災 S ウォークには初めて参加した。式典の後茨木・高槻・京都コースのパネル板を持って仲間が集まってもらい出発した。どの道順で歩くことか試行錯誤しながら交通標識を見ながら扇町プールでトイレ休憩していると見知らぬオジさんが話しかけてきたので大阪防災ウォークで自宅まで歩いて帰るんですーそれなら歩いてみようかとグループに合流して世間話をしながら歩いていると天六で光川副委員長が追いかけてきて合流し長柄橋は歩いて渡れると思っていたが車が

多く危険であるので淀川河川敷に下りて毛馬を通り城東貨物線側橋は初めて渡った。歩くブログで光川さんが携帯を駆使して写真を撮ってメールしていた。しばらく淀川堤防をウォーキングして街に下り食堂探しまくり昼食は和食膳とギョウザを食べて茨木高槻コースと京都コースとなった。雨天の中リックにだけカバーを掛けてスタスタ彼女達と歩き参加者の中で一番若娘でした。

茨木市内でカマちゃん一人となった。お腹もすいたので3時のオヤツでパン屋で一休み、ようし自宅までひと頑張りして自宅に帰ったのは4時前その後車の6ヶ月点検に行ってからゆつくりと入浴し良い気分です。

翌日大阪防災 S ウォークの HP を覗いて見ると、ブログの写真を見て楽しかった。

サンケイ新聞1月15日夕刊に防災 S ウォークの記事が載っているので気になっていたのサンケイ新聞販売店に行って1月15日の夕刊を探してもらった何か載っているんですか？

一面トップに茨木高槻京都コースのパネルを持っているカマちゃんがカラー写真で載っているではないかビックリビックリ驚いた。

2~3日して友達に会うとサンケイ新聞に載ってたよ.....これで悪さは出来へんなどお祝いされた。

河合 修二郎 (大阪府大阪市生野区)

歩行コース: 大阪市役所前→難波→大国町→四天王寺→自宅

到着時刻: 14時00分

歩行距離: 8Km

歩数: 12000歩

[感想]

私はいつも自転車で行動します。御堂筋通りを歩いて土地、名前、建物等わかり歩く自信ができました。



川瀬 佳臣 (大阪府泉佐野市)

歩行コース: 大阪市役所前→難波→住吉公園→堺→浜寺公園→岸和田→自宅

到着時刻: 19時00分

歩行距離: 40Km

[感想]

1. ルートについて

- ① 橋が少ない。古い橋は耐えられるか？橋が崩壊した時、国、府が橋をかけるのか？地域でかけるのか？
- ② 避難場所及びその場所への誘導看板が見かけない、見つけにくいのか？
- ③ 頭上の看板が歩道にはみ出している危険。

2. トイレについて

コンビニ、ガソリンスタンドで借りることができた。二年前は大阪市内のコンビニ2社2店で借りられなかった経験をしている。ゆえに各人が事前にチェックしておく必要あり。使用には水がいる。どうする？

3. 体力について

私の場合まだ余力がある。いざ遭遇すれば年限かなりのことは可能。しかし日ごろ歩かない人はどのくらい歩けるのか？

4. その他

今回、71人の参加数から防災意識の少なさ、無さを感じざるをえない。「備えあればうれいなし」のことわざのごとく、自分を守り、家族を守り、人々を守れるのでは。

5. 提案

- (1) 耐えられるだけの橋の増設が必要でしょうし、加えて仮説的な橋の用意が必要でしょう。
- (2) 緊急品は備蓄されていると思うが、一番に「水」、「米」、「薪」、「毛布」、「光」が必要でしょう。その為にはどうするか、井戸を掘る、米は農協などにもストック、古くて、今はそんなもんといわれるがガスラインが破壊されていれば薪に頼るか。また、光については太陽エネルギーを生かせば。

倉良 文 (大阪府堺市)

歩行コース: 大阪市役所前→御堂筋→国道26号線→阿倍野筋→府道30号線→泉北1号線

到着時刻: 14時02分

歩行距離: 約25Km

[感想]

防災Sウォーク開催のことを新聞記事で知り、防災について考えることと、自分の体力を測るために、今回初めて参加しました。

歩行の途中からアメが振り出しましたが、14時すぎに無事自宅に帰ることが出来ました。普段、電車とかマイカーで楽に移動をしていますが、わずか数十キロでも自分の足で歩くことが大変なことだと実感しました。

これを機に地震に対する備えをすることと、体力の維持を心がけて生きたいと思います。

渋川 博之 (大阪府守口市)

歩行コース: 大阪市役所前→梅田新道→天神橋3丁目→天神橋8丁目→城北通→今市
→守口→金田町2丁目到着

到着時刻: 12時30分

歩行距離: 約14Km

[感想]

16日車で距離を計る。今回は楽しく歩けました。

下良 清美、一子 (大阪府中央区)

歩行コース: 大阪市役所前→南側川添を東へ→最初の橋を南へ→高麗橋より松屋町筋へ
→内本町2丁目東へ→内本町1丁目自宅

到着時刻 10時00分

[感想]

甥の呼びかけに初参加させて頂きました。朝の散歩程度の軽い気持でしたが市役所前には皆さんリュックを背に完全装備の姿に軽率な私共とっても恥ずかしい思いでした。神戸市東灘区北青木に住んでいる姉宅は倒壊こそしなかったものの家中あらゆるものが散乱し大変な事でした。ガス、水道もなかなか復旧せず、ずい分長い間不自由した事昨日の様に思い出させて頂きました。いざと云う時の心構えができれば、、、と改めて考えさせられた一日となりました。

橋を渡った所に少しばかりですがレトロな街並みに接しビル街に住む私共にはホッとした安らぎ感じました。本当によい体験をさせて頂き有難う御座いました。



田中 實 (大阪府河内長野市)

歩行コース: 大阪市役所前→難波→上本町9丁目→アベノ橋東三町地下鉄我孫子線上
→堺市河内長野線310→千代田

歩行時間 約8時間50分

歩行距離: 約33Km

歩数: 電池切れ 3415歩

[感想]

あまり吹き降りでないときは傘の方がむれなくてよいと思いました。

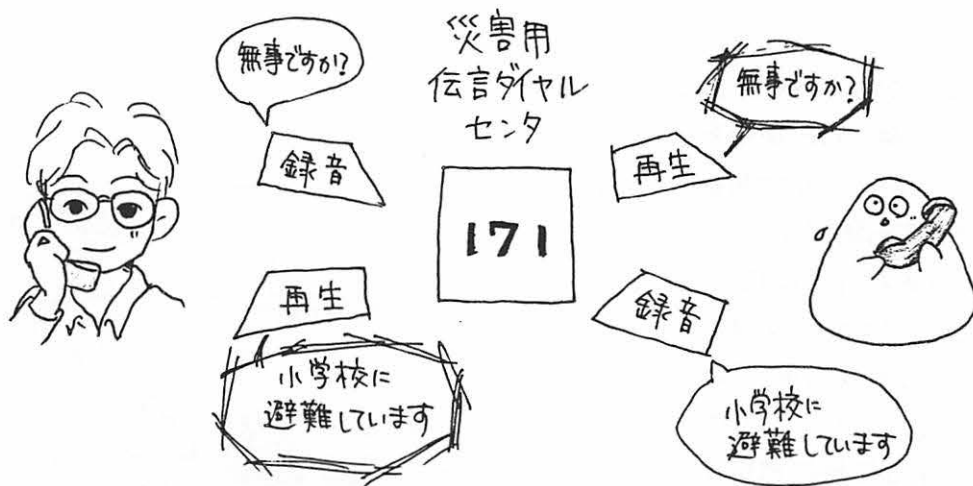
ご存知ですか？ 災害伝言ダイヤル・災害用伝言板

地震や台風など、大きな災害の時、被災地にいる知り合いの安否を知りたくて、連絡を取りたくても、電話が通じない…そんな経験はありませんか？

そのような状況の時に使えるのが、災害用伝言ダイヤル「171」と i モード災害用伝言板サービスなのです。

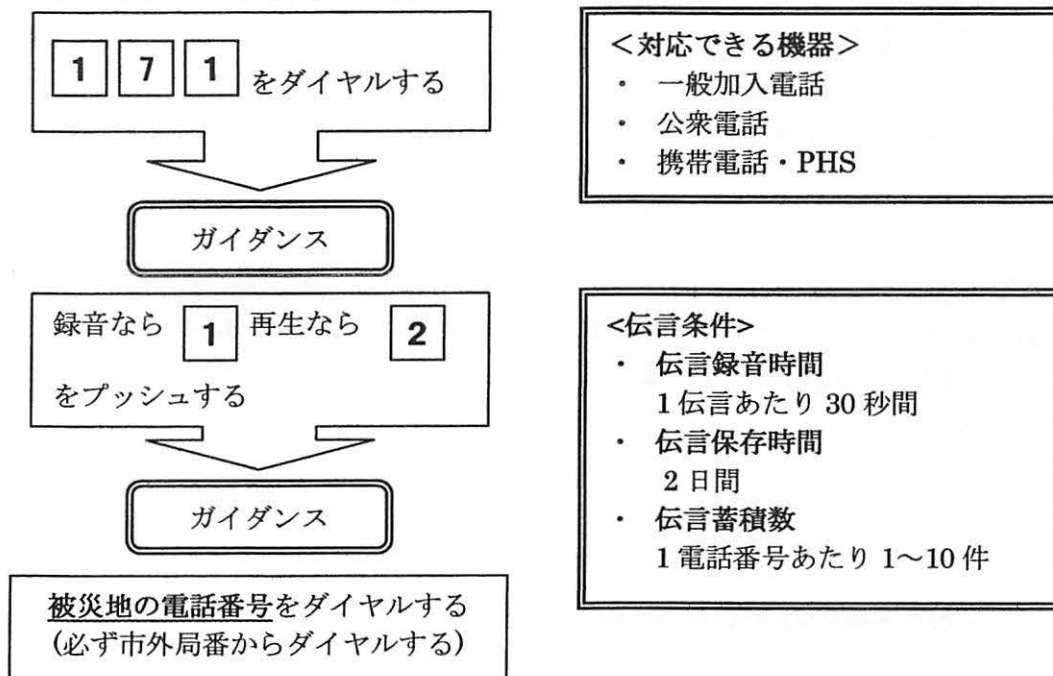
<仕組み> (災害用伝言ダイヤルの場合)

「171」にダイヤルすると、災害用伝言ダイヤルセンタにつながります。ここで、利用ガイダンスに従って伝言の録音・再生を行います。



<利用方法> (災害用伝言ダイヤルの場合)

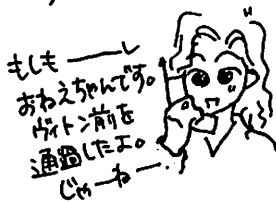
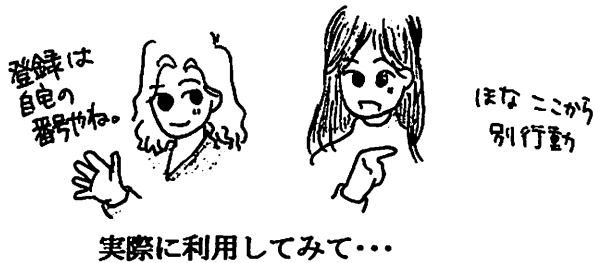
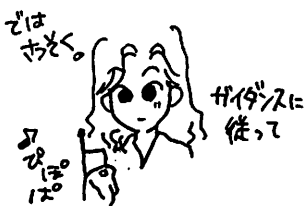
この「171」は、震度6以上の地震発生時など、被災地に向けての通話がつながりにくい状況になった場合にNTT側で利用可能とします。



練習がてら、こんな事も・・・



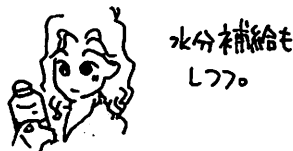
<コース設定>
 大阪市役所→天王寺



実際に利用してみて・・・

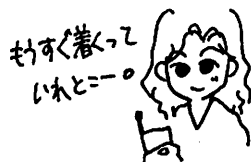
<便利な点>

- ・ 自宅電話番号など、自分で忘れにくい電話番号で登録するのが使いやすいし、人に説明しやすい。



<不便な点>

- ・ ガイダンスのアナウンスが長い。全部聞いていると約3分かかる。
- ・ 伝言の登録時間がメッセージのあとにアナウンスされる。



現在、毎月1日(1月1日を除く)にiモード災害用伝言板が体験利用が出来ます。

練習がてら、使ってみてはいかがでしょうか？

URL: <http://www.nttdocomo.co.jp/info/dengon/home.html>

また、インターネットで災害用伝言ダイヤルの疑似体験ができます。

URL: <http://www.ntt-west.co.jp/dengon/pseudo/index.html>

<ちょっと一言>

昨年は震災だけでなく、この災害伝言ダイヤルが使われることが多くありました。

平成10年に設定されたときは、電話だけでしたが、今ではiモードでも利用できるようになりました。

電話の場合、被災地の自宅電話番号以外の登録が出来ない、携帯電話番号は登録できないというデメリットがあります。これだけ携帯電話が普及している今、逆に使いにくいなあという気もします。

iモード災害用伝言板の場合、伝言確認に用いる携帯電話番号がDoCoMoで検索できない場合はau/ツーカーまで、検索範囲を広げてくれます。

中内 亜矢 (大阪府茨木市)

歩行コース: 大阪市役所前→扇町公園→城東貨物線で淀川を渡る→東淀川区内
→摂津市内近畿自動車道沿い→茨木市役所前→自宅

到着時刻: 16時45分

歩行距離: 約23Km

[感想]

自分の足で会社から家まで歩いて帰ることができるのか試してみたい、いざという時のために家に帰るルートを知っておきたいと思い参加してみました。

今までそんなに長い距離を歩いたことがなかったので不安でしたが同じ方面の方々と一緒に歩けたがとても心強く、木の橋で淀川を渡ったりいろんな発見があって楽しかったです。途中から雨が降り、寒いし、足は痛いし、空気は悪いしとてもしんどかったのですが無事家にたどり着くことができ充実の一日でした。また機会があれば自分が歩きやすい道、最短距離ルートなどをしらべてみたいと思いました。今回Sウォークに参加し、歩いて家まで帰れることがわかり、実際歩いてどんな感じなのかもわかったし、参加してとてもよかったですと思います。

また町の様子として、摂津市の工業地帯あたりは魚もすめないようなゴミだらけの川が一杯あり町がきたないな～と思いました。また全体的に車優先社会だな～と改めて思いました。もっと町に緑を増やし、環境にやさしい自転車や歩行者に優しい街づくりをしてほしいと思いました。

中川 靖彦 (大阪府河内長野市)

歩行コース: 大阪市役所前→JR天王寺駅→北島公園→堺市役所前→仁徳天皇陵前
→狭山市→河内長野市千代田台1町

到着時刻: 17時40分

歩行距離: 約35Km

歩行時間: 8時間

[感想]

第5回大阪防災Sウォークに初参加して、大阪市役所から自宅まで約35キロを完走。途中デパートに寄り道し、雨以外何の障害もなく無事帰宅できましたが、震災時には、3倍～15倍の時間がかかるのではないのでしょうか。道路、橋、ビル、民家が、崩壊し、信号機、電柱が折れ、車事故、人が建物の下敷き、死亡者、けが人などの中帰宅するのは大変だと思います。参加者71名、年齢層21～83才とのことですがもっと多人数の方が参加され、中、高、大学生の参加もお願いしたいものです。ありがとうございました。

中谷 兼雄 (大阪府大東市)

歩行コース: 大阪市役所前→中之島を東へ横断→片町から寝屋川右岸沿い
→京橋駅から東へ→徳庵橋→住道駅→自宅

到着時刻: 13時00分

歩行距離: 約14Km

[感想]

とかく忘れがちな防災意識を呼びさますのに良い企画と思います。私自身は今回の集合時間に遅れて、もう皆さんが出発間際に着き、大変失礼しました。

道順を凡そ見当つていたのですが東西線の天満天神橋駅からの道程を着いてからもたつき、何べんも途中道を尋ねながら迷ってしまい遅れてしまいました。次回からは気をつけようと思います。尚、参加の理由は4年前、バス事故で背骨を痛め約一ヶ月半入院の後リハビリを半年以上続け、暫く近くの飯盛山へ往復約1.5時間歩けるようになり、今回は以前より体力が落ちているのでトライしてみましたが、ゆっくり家まで歩いてほっとしました。

中村 保宏 (大阪府豊中市)

歩行コース: 大阪市役所前→御堂筋→梅田→国道176線中津→国道176線十三大橋
→新三国橋

到着時刻: 11時00分

歩行距離: 約6.5Km

[感想]

職場は市内で勤務しておりますが、大阪市内などに用事で外出している最中に災害が発生し、淀川・神崎川にかかる十三大橋、新三国橋が不通になったら新十三大橋、新淀川大橋、神崎橋、三国橋が通行できればよいことと思います。迂回することを考えるだけでも身体がぞくぞく寒気がする次第です。



永野良宣 (大阪府池田市)

歩行コース: 大阪市役所前→JR 大阪駅→中津→十三大橋→176号線
→新三国橋→阪急庄内駅

歩行距離: 8.5 Km

到着時刻: 1 時間 35 分

[感想]

今回で2回目の参加となります。2年前現在の池田へ引越したので自宅へ歩いて帰るルートは初の試みとなりました。自宅まで歩きたかったのですが、今回は都合により、途中の阪急庄内駅に設定しました。

参加者のみなさんが出発され、後片づけをしてからの出発だったので寂しい出発となりましたが、目的地に向けてスタートしました。

大阪市役所を出発し、御堂筋を北上。国道176号線沿いのルートを選ぶ。ずっと進んでいくと十三大橋へ。淀川を渡りながら橋と平行に走っている阪急電車を眺める。もし地震でこの電車を使えなければ…、と思うとぞっとしました。

橋を越え少し歩くと十三。賑やかな街並みに変わる。交通量もかなりの量でした。更に進むと、176の道路はあるがなんと自動車専用道路に。違う道を探すもとの176へ戻るのに苦勞しました。縮尺の大きな地図で見るとそれがわからなかったのもそのようになりました。やはり実際に歩いてみないと分からないことがあるのだなと実感しました。

もとの176へ戻ると、残りは特に迷うことなく阪急庄内駅へ。電車でいつも通っている駅で、もっと早く着けるかと思っていました。今回の到着時間は意外な結果になりました。今度は自宅である池田まであるけたらと考えています。

どうもありがとうございました。

西野 宏・知子 (大阪府高槻市)

歩行コース: 大阪市役所前→天神橋 6 丁目→長柄橋→(大阪高槻線) 豊里→大桐→鳥飼
→西面→鷺打橋→自宅

歩行距離: 約 20Km

到着時刻: 15 時 10 分

[感想]

高槻からの参加で今回4回目です。第1回は淀川左岸を、第2回は右岸を、第3回は左岸から鳥飼大橋を渡り右岸を通り帰路へ。

今回は長柄橋を渡り大阪高槻線を歩く。菅原天満宮を参拝、途中大桐あたりから雨になるが家まで完歩する。

一番困ったのはトイレ、河川敷にはあちこちに仮設トイレがあるが街中は無くガソリンスタンドで借用する。また弁当持参での参加であったが、雨であり食堂を捜すが一津屋のモノレール下まで適当な店無く苦勞した。

最後に実行委員スタッフの皆様有難う御座いました。感謝感謝です。

防災の備え

・ Staff Tの場合・

これをきっかけに
少しずつ防災について
考えはじめました。
そんな時、会社で配られた
非常持出袋



2時間かけて家に到着。
1度しか歩いていませんが
自信になったことは確かです。



サバイバルの2回めから
参加しています。
でも歩いたのは1度だけ



• ヘルメット •

• チョコ •
• チューブ式チョコ •

• ナップザックになる
非常持出袋 •

• 乾パン •

• 保存用の水 •

ここに自分で
追加しました。

こんな感じ

マグネットフックで
ひっかけて、
この袋を
机の下に
おいてます

新聞紙とゴミ袋も
入れておこうかと。

マスクがあり

• バンダナ •

• 地図 •

首にまいたり

頭にまいたり

• 軍手 •

せめて一つでも、と思って
手動の懐中電灯+ラジオを
注文中です。

しかし
2ヶ月待ちの
お知らせが...

おわり。

会社の準備はそれぞれOK!
しかし 家は...

やらなかな
って
思ってるが

171を使うこと、避難場所は
確認OK。

スニーカーも
机の下に おいてます

ロッカーには倒れるおそれがある
ので机の下がベスト

野原 耕司 (奈良県大和郡山市)

歩行コース: 大阪市役所前→本町→森ノ宮→吉田→枚岡公園→暗峠→南生駒→大和郡山

歩行距離: 約 30Km

歩数: 44700 歩

到着時刻: 17 時 20 分到着

[感想]

今回は仲間数人との参加で、時間はかかったものの楽しく歩く事が出来た。お昼前から雨も降り出し、カッパを着ての生駒山、矢田山越となり、雨と汗とで身体もびしょぬれになってしまった。トイレはJRの駅や公園のトイレでした。急がば廻れ！！近道をしようとして道に迷うこともあった。標識のある広い道を歩くようにしよう。年もとってきたので次回は参加できるか？ガンバロウ体力をつけて。

福垣 壽昭 (大阪府豊中市)

歩行コース: 大阪市役所前→国道176号線→豊中桜塚交差点右折→豊中亀岡線
→野畑橋→自宅

到着時刻: 15 時 00 分

歩行距離: 約 17Km

[感想]

二度目の参加です。前回は新御堂筋を歩きましたが、今回はR176を歩きました。途中の状況は特筆すべき事柄はありませんが、トイレはR176沿いの野中南区民センター横公園のトイレを利用しました。他の場所の確認は出来ませんでした。街中のこととてR176に交差する露路が多くあり横切る際の左右確認が繁雑で結構疲れしました。十三商店街の散策をR41号線を一時間ほど散策しR176にもどり、豊中庄内服部神社内で参拝と休憩で30分程費やし、15:00ごろに帰宅しました。報道者に二度インタビューを受けました。出発直前(歩行ルート、所要時間、目的方面、体調、抱負等)十三大橋を渡りきった所(体調、到着予想時間、距離、感想)。こんなことははじめての体験で大いに気を良くした一日でした。ありがとうございます。





前田 孝夫 (奈良県大和郡山市)

[感想]

17日には阪神淡路大震災から10年が経とうとしています。昨年に中越大地震、死者15万人をこすインド洋海域での大津波と、忘れていた地震の恐ろしさを再認識させられました。

今日大阪防災Sウォーク(第5回)の催しがありました。

地震などの災害時に、交通機関などのストップした場合に、自力で自宅まで歩いて帰る事が出来るのか、を想定しています。私の場合、勤め先の大阪市内から奈良の自宅まで35Km を歩いて帰ることが出来るのかを試されます。

以前2000年に参加しました時は、9時間かけて帰り着きました。

2001年には甲子園まで電車にのり、そこより神戸震災センターまで歩きました。

今日は節目の10年との思いもあり参加させてもらいました。

昼前から雨の予報もあり、参加者は予定の100人も割り、寂しい大会になりました。震災の風化はいなめない思いでした。

2000年と同じ東大阪・生駒山越えコースには3人が先発されて行った。私はスタッフの皆さんと残って残務整理のあと30分ほど遅れて出発。実行委員長山下さんと天満橋までご一緒のあと、一人になり歩く。2000年の時は、5、6人で色々話しをしながら楽しく歩いたのだが、今回は一人で中央線沿いを黙々と歩く、途中より心配していた雨も降り出し、歩き出して2時間。長田辺りで本降りになる。途中ミスで昼食をとり、1時過ぎ新石切駅で打ち止めする。

走ることや、歩くことは大好きでロング走は苦になりません。でも実際に災害になった場合は、このように気楽には歩けないのですが、どのような状態になっても歩いて自宅に帰る自信はあります。

トイレは北浜橋詰、大阪城を横断時に森ノ宮までに三ヶ所ありました。

松田 信夫 (兵庫県西宮市)

歩行コース: 大阪市役所前→淀川大橋→尼崎→西宮 2号線添いを歩いて帰宅

歩行距離: 20Km

到着時刻: 午後1時 33 分

[感想]

今回で6回目の参加になります。あの阪神大震災から10年目となりました。[Sウオーク]に参加する度に亡くなった母、兄、義姉のことや犠牲になられた多くの人のことを思い出します。読売新聞記者の山下さんと震災時の話をしながら歩きました。家が全壊し、妻が20数センチのすき間から 1 時間後に救出されたことなどを話しながら歩いていると、前方に高速道路が見え「あれ? 2号線に高速道路はなかった筈なのに」と道を間違えたことに気が付きました。5回も同じ道を通っているのに注意力に欠けていたのですね。歌島橋交差点まで戻り、山下さんと別れて2号線を自宅に向かって歩きました。1 回目に歩いた時は歩道が狭くて自転車等が置いてあり通りにくかったことなどを思い出しました。参加者の人と出会いたかったので急ぎ足で歩きました。途中で雨が降ってきたので傘を差して歩きました。武庫川を渡った所の小さな公園で圓丸さん達に追いつきました。会場でもらった水とカロリーメイトで力をつけて、帰路に着きました。

久し振りの開催なので懐かしい顔触れに会うことができ嬉しかったです。

Sウオークで学んだことを生かし、2 年前から歩いて通勤しています。阪神電車の香栞園の自宅から魚崎にある会社まで7~8Kmを1時間20分ほど掛けて歩いています。

時々道筋を変えてみると、新しい発見があったりして楽しいです。勿論、足にはスニーカー、耳には小型ラジオ、ケータイは常に身に付けています。

早朝の散歩、昼食後の散歩も合わせて日に2~3万歩、歩いています。

妻と娘に「お父さんはアル中(歩く中毒)やね。」と笑われておりますが。

最後にスタッフの皆さん、トイレを貸して下さったガソリンスタンドの皆様方、有難う御座いました。

次回も是非参加したいと思います。

光川 寛 (京都市西京区)

歩行コース: 大阪市役所前→東中筋商店街経由天六→長柄橋南詰→淀川左岸
→城東貨物線橋で淀川右岸→江口橋手前(大阪高槻線)昼食
→烏飼→唐崎→阪急高槻で終了

歩行距離: 約 26Km

歩数: 34400 歩

到着時刻: 16 時 05 分阪急高槻到着(大阪市役所前 9:40 出発)

[感想]

天神橋筋八丁目で京都方面の方々に合流しました。(お話を聞いていると扇町経由のコースを取られたので、早く追いついたのです。理由:私は斜めのコースを選びました。)

天神橋8丁目で東の歩道に渡らなかった為に長柄橋を渡ることができない事に気が付き(川下側に歩道が取り付けてない:右岸側の車道の構造の為)淀川左岸の河川敷を選びました。(ブログに城東貨物線橋を送信)貨物線橋で右岸に渡り今度は見晴らしの良い堤防上を歩きました。菅原の有料橋当たりから雨がきつくなり、ウインドブレーカをはおり傘を差して歩きました。今まで何回も参加しましたが雨に逢ったのは今回が初めてで実に歩きにくいと感じました。

12時になったので皆さんと一緒に昼食を取るために府道大阪高槻線に出たところ、丁度、江口橋でそこにはスカイラークがあり難なく昼食に有り付く事が出来ました。(昼食時間12:15~12:55)

茨木方面の方と摂津南(一津屋上)で別れ(ブログに送信)京都組み2人が黙々と高槻方面を目指して雨の中を歩きました。今回は無理をせずに、雨の体験が出来たという満足感も有り最終目的地を高槻市と、もう一方の人と決めました。(高槻市到着ブログ送信)

皆さん大変ご苦労さんでした。

毛利 邦三 (大阪府羽曳野市)

歩行コース: 大阪市役所前→難波→四天王寺→平野→長吉→大和川→恵我之荘(自宅)

歩行距離: 約 21Km

歩数: 35000 歩

到着時刻: 13 時 45 分

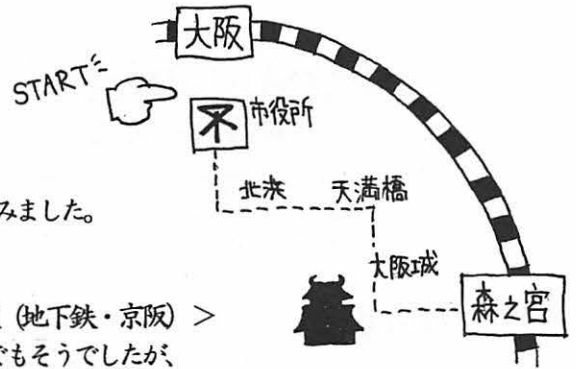
[感想]

家族に心配されましたが、途中よりの小雨以外なんら支障なく帰宅できました。「途中マラソンランナー」の距離と走行を思い浮かべつつ元気を出して、只、大和川に架かる橋が震災等の災害で渡れなかったと思うと一抹の不安が過ぎりました。

《大阪市内中心部の帰宅ルート》

今回は、雨が降ったりしたため、ほとんど歩いていません。

そこで、2000年1月のデータを基にして、レポートをまとめ直してみました。



＜北浜駅（地下鉄・京阪）＞

淀屋橋駅でもそうでしたが、

ここ北浜駅でもガラス窓が壊れました。

このビルの下が駅の出入口です。

地上に出る時に、ガラスは落ちてこないかしら。

また、目の前は大通りです。平日なら大渋滞のところですよ。

落ちてくるガラスを避けようとして飛び出したら・・・

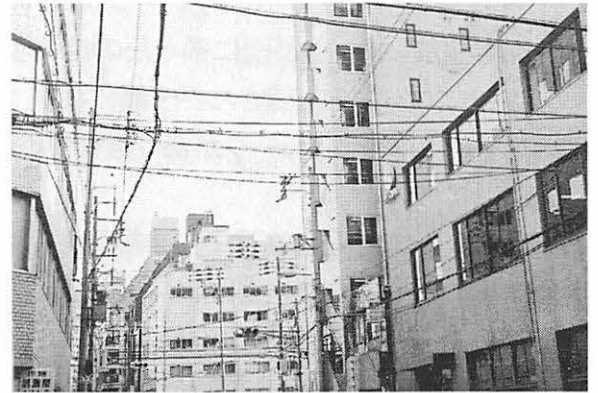
地上に出るか？地下にとどまるべきか？ (2005年撮影)



＜天神橋交差点北側＞

こんなところに公衆トイレがありました。

市内には、コンビニやガソリンスタンドも多くあって
トイレには困らないとは思いますが、知っているのと
何かと便利でしょう。 (2005年撮影)



＜天神橋周辺（石町）＞

大通りを歩くのが不安になったため、裏通りを通って見まし
たが、道が狭くなっている分、建物が低くても圧迫感はい
まわり変わりませんでした。

車の数は少なくなりましたが、頭上を無数の線が交差して
います。線が切れたり、電柱が倒れると、この道も危険です。

(2005年撮影)



＜天満橋駅（地下鉄・京阪）周辺＞

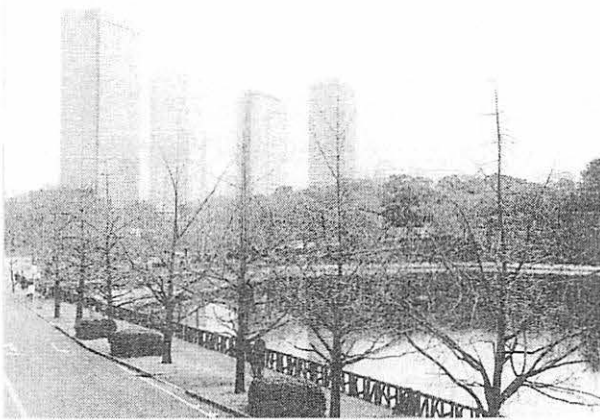
歩道の上にガラス窓や看板など。車道には車もいっぱいです。

頭上だけでなく、車にも気をつけて歩かなければなりません。

こんなとき、もし1台でも車が燃え出したら・・・

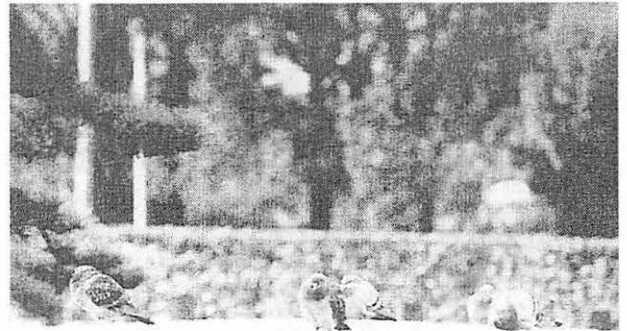
繁華街には危険がいっぱいです。

(2005年撮影)



〈大手前よりOBPを望む〉

高層ビルが建ち並んでいます。
 中にいる人たちは、どのようにして逃げるのでしょうか。
 危険だからエレベーターは使えないでしょう。
 最上階から地上まで、階段で降りるのにかかる時間は？
 ぜひ、元気な時に確認しておきましょう。(2000年撮影)



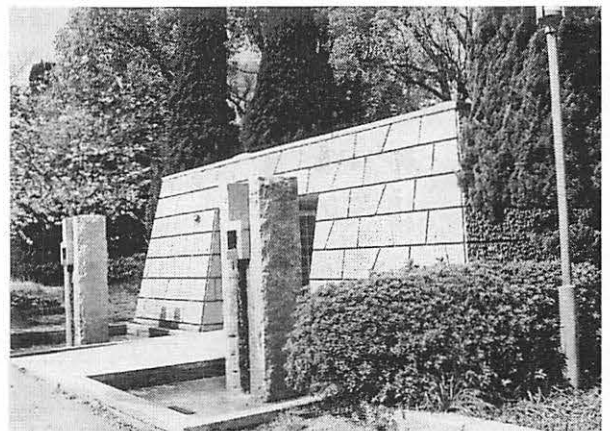
〈大阪城・大手門前〉

前回では何気なく通り過ぎた所です。
 花が咲き、鳥が休んでいました。それだけで心ゆたまりました。
 このように広い場所ではなくても、道端に花があるだけでも心
 は休まります。防災目的のためだけでなく、公園・緑地等のあ
 りがたみを感じました。(2000年撮影)



〈大阪城・大阪府庁周辺〉

公園の中の道です。
 広さもあり建物もなく、ようやく安心して歩けます。
 公共施設も多いため、情報も手に入りやすいと思います。
 トイレは公園内にもあり、府庁などでも借りることができる
 でしょう。(2000年撮影)



〈大阪城公園内・トイレ〉

森ノ宮駅から公園内に入って右側にあります。
 万が一駅が倒壊しても、このくらい頑丈そうなら大丈夫？
 駅周辺にもコンビニなどトイレはありますが、公園内にも見付
 けておくと安心です。(2005年撮影)



〈森之宮駅 (JR・地下鉄) 周辺〉

我が家の広域避難場所は大阪城です。
 その大阪城に行くには、この交差点を越えなくてはなりません。
 でも、頭上には高架道路と高速道路とJRの線路。
 果たして地震時には、無事越える事ができるのでしょうか。

(2005年撮影) (文・写真: 倭 明美)

柳生 圭蔵 (奈良県北葛城郡)

歩行コース: 大阪市役所前→地下鉄心斎橋駅→R308 近鉄枚岡駅→暗峠→近鉄南生駒駅
→R168 王子→上牧町

歩行距離: 40.0Km

到着時刻: 18時00分

[感想]

都市大震災と言う想定のもと、交通機関が全面ストップしたと自分に言いかけ、40Km先をめざして歩き出したものの、現実の大阪の町はそれを仮想させないほど活気に満ち、激しく車が往来していた。しかし、暗峠越えは車と人には滅多に出会わずことなく、霧にかすむ苔生した道を楽しむことができた。生駒山を越えて奈良側の国道に入ると歩道はほとんどなく車の泥はねを何度も受け、よい歩行訓練になったと得心している。

お世話になりありがとうございました。

山口 元伸 (大阪府堺市)

歩行コース: 大阪市役所前→(御堂筋)難波高島屋→(国道25号・26号)住吉大社
→(国道479号)千鉢→(あべの筋)堺東駅→(南海)→白鷺駅(徒歩)
→自宅(堺東でリタイア)

歩行距離: 約14Km

到着時刻: 16時00分

[感想]

今回始めて参加しました。地震発生時に会社にいるという前提でスーツ革靴で歩きました。革靴では底が薄いので、ケガしそうです。会社に運動靴を備えるべきと痛感。また、歩いて1時間後頃からトイレに行きたくなりましたが、トイレを見つけるのは大変でした。ガソリンスタンドよりもコンビニの方が目に付きました。病院も聞いていれば使用できそうです。大和川を渡るあたりでかなり疲れが出てきました。大阪市と隣接している自治体は大和川を越えた付近で拠点を設置し、情報提供等を行うようにすれば、徒歩で帰る市民は気分的に楽になるのではないのでしょうか。

sanic

ビジネスマンのVゾーンを飾るネクタイをメインにジャケット・スーツ・
カジュアルウェア等リーズナブルなプライスで品揃えのメンズショップ。
地下鉄御堂筋線本町駅◎出口右(改札口より1分) TEL 06-6252-0585

吉川 博男 (大阪府門真市)

歩行コース: 大阪市役所→堂島川沿い左岸を川上へ→源八橋を渡り桜ノ宮公園を川沿い北上
→毛馬→淀川大堰→淀川沿い河川敷を遡る→鳥飼で中央環状を南へ→門真市駅

歩行距離: 15Km 位

歩行時間: 1 時間 20 分

[感想]

ジョギングにちょうど良い季節なのでジョギングで家まで頑張りました。

思っていたより遠くなく、雨の降り出す前に到着しました。今朝の開会の挨拶で地震の時は上に注意して!とのことですが 町の中はまさにその通り 看板や電信柱のトランス・高層建築物等危険がいっぱいです。川沿いのコースは上からの危険はありませんが水の水位が地面と余り変わらず、場所によって歩道は水面下になっています。津波の影響等あるとすれば怖いですね。実際堂島川や淀川など南海地震が起こったとき津波がどのあたりまでくるのでしょうか

建築物が比較的高層のものが多くですが、避難先に開放してもらえるのか心配ですね。

今日は災害が起こったら、自らを振り返る、いい1日となり、ありがとうございました。

大阪府立健康科学センター
ゲンキープ大阪

Osaka Medical Center for Health Science and Promotion

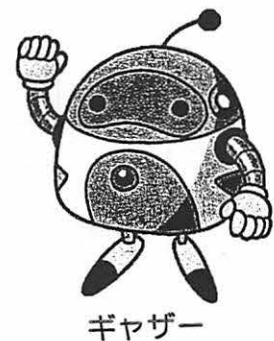
〒537-0025 大阪市東成区中道1-3-2

Tel 06(6973)3535

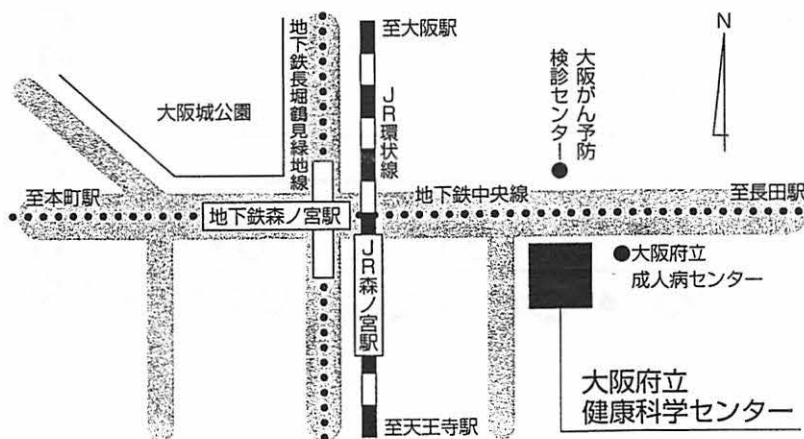
Fax 06(6973)3574

ホームページ <http://www.kenkoukagaku.jp>

eメール info@kenkoukagaku.jp



ギャザー



※最寄駅 (JR森ノ宮駅・地下鉄森ノ宮駅) より東へ徒歩100m

マスコミ報道あれこれ

サバイバルウォーク、大阪防災Sウォークは各メディアで紹介されています。
各回で紹介されたメディアは以下のとおりです。

		サ バ イ バ ル 1	サ バ イ バ ル 2	第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	第 5 回
新聞	読賣新聞	○	○	○	○	○	○	○
	朝日新聞	○	○	○	○	○	○	
	毎日新聞	○	○	○	○	○	○	
	産経新聞	○		○	○			○
	日経新聞				○	○		
	大阪日日新聞			○	○	○		○
	大阪新聞		○					
	神戸新聞		○	○	○	○		
	奈良新聞		○	○	○	○		○
テレビ	NHK	○	○	○	○	○	○	
	MBS		○		○		○	
	ABC		○	○			○	
	KTV			○			○	○
	STV				○			
ラジオ	ABCラジオ		○	○	○			
	MBSラジオ				○			○



防災SWALK
参加者を募集

大阪防災Sウォーク実

行委員会(神戸市・丸
哲朗代表)は、十五日午
前九時から開催する防災
対策訓練「第五回大阪防
災SWALK」(大阪府、
大阪市後援)の参加者を
募集している。参加費

(傷害保険料など)五百
円(中学生以下無料)。
雨天決行。
頭文字の「S」はサバ
イバル(生存)、セーフ
ティ(安全)などを意
味し、地震などの災害発
生時に交通機関が途絶え
た状況を想定し、都心部
から徒歩で自宅を目指し
て帰ることを目指す防災
活動。集合場所は北区中
之島の大阪市役所正面玄
関。目的は自宅以外に
参加者自身の体力、体調
に合わせて自由に設定す

る。
参加希望者ははがきま
たはファクスに住所、氏
名(ふりがな)、年齢、
電話番号を明記し、〒6
58-0056、神戸市
東灘区御影町御影城ノ前
一四七〇ノ三、大阪防
災Sウォーク実行委員会事
務局、ファクス075
(393)0159へ申
し込む。後日、参加者の
感想や歩数などの情報を
まとめた記録集(千円)
を制作する(記録集予約
者は参加無料)。問い合

わせば電話078(85
1)8541、同事務局
へ。申し込みは電子メー
ルでも受け付ける。アド
レスは次の通り。
swalk@eitechou.
com

地震に備え徒歩 で我が家へ

(2005.1.1 産経新聞)

※インターネット公開不許可コンテンツ

15日防災ウォーク

大災害による交通途絶で
職場や学校から家に戻れな
い「帰宅難民」に備え、大
阪の都心部から自宅まで歩
いて帰る防災訓練「大阪防
災Sウォーク」が十五日開
かれる。午前九時に大阪市
役所南側に集合。自宅や神
戸市中央区の「人と防災未
来センター」を目指す。雨天
決行。参加費500円。希望
者は、はがきに▽住所▽氏
名▽年齢▽電話番号を書い
て、〒658・0056神
戸市東灘区御影町御影城ノ
前一四七〇ノ三「大阪防
災Sウォーク実行委員会」へ。

大阪日日新聞

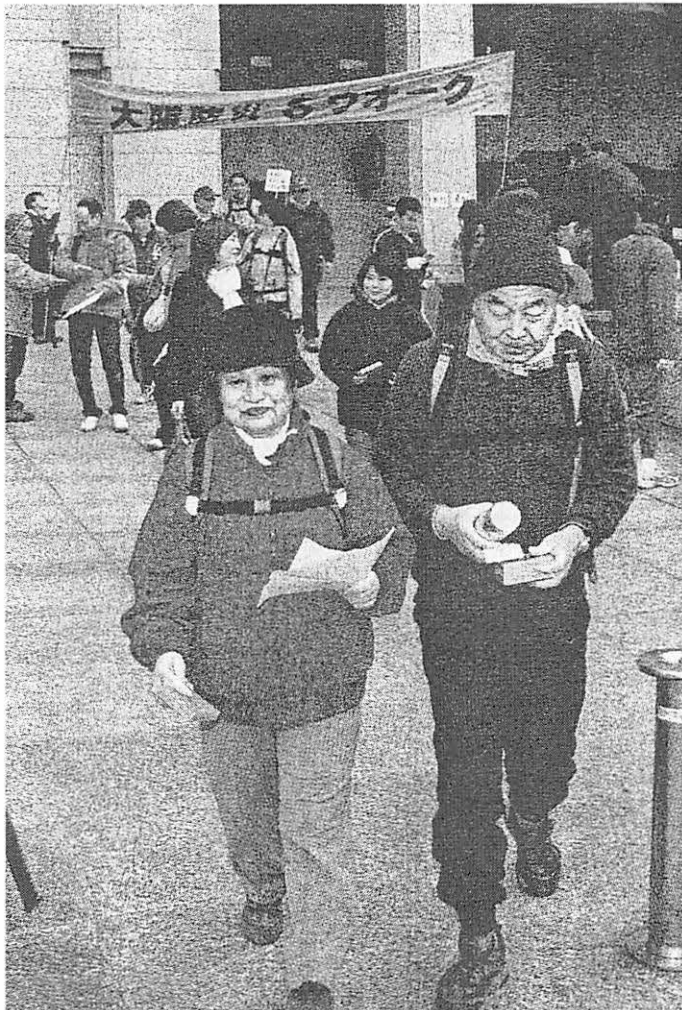
地元紙
 朝刊 1部
80円
 1カ月
1,995円
 ご購読はフリーダイヤル
0120-728-468

発行所
ザ・プレス大阪
 〒541-0059
 大阪市中央区博労町2-6-8
 総務 ☎ (06)6120-1800
 営業 ☎ (06)6120-2310
 販売 ☎ (06)6120-2311
 編集 ☎ (06)6120-2313
 F A X (06)6120-1811

2005年(平成17年)1月16日 日曜日 第19349号

日第3種郵便物認可

大阪日日新聞



それぞれの目的地を目指し大阪市役所前を出発する参加者ら

十七日に阪神大震災から十年になるのを前に、大地震で交通機関が停止し、大阪市中心部から徒歩で帰宅する状況を想定した市民参加の訓練「第五回大阪防災Sウオーク」が十五日、大阪市役所を出発点に開かれた。京阪神から参加した二十一七十歳の約百人が、自宅をはじめ各人が設定した到着点を目指した。

二〇〇〇年一月から続く企画「S」はサバイバル(生き残り)、セーフティ(安全)、サポート(助け合い)を意味し、参加者自身が到着に必要な体力、装備、道順を確認するのが狙い。午前九時半の出発を前に参加者、ス

我が家を目指して

大阪防災Sウオーク

スタッフ全員が阪神大震災の犠牲者となった人たちへ黙とうをささげ、神戸、京都、奈良など各方面に分かれて市役所をあとにした。

友人二人を誘って参加した野原耕司さん(笑)「奈良県大和郡山田市」は「体力は落ちていますが交通手段がなければ歩くしかないですね」と約三十五キロ離れた自宅を目指して元氣よく出発。同事務局の圓丸哲朗さん(笑)は「震災十年目や今後起こりうる大災害など、防災への関心は高まっている。体験を通じて自分の身は自分で守ることを認識してもらいたい」と話していた。



平成17年(2005) 日刊122334号

1/15 [土]

産業経済新聞(サンケイ)
THE SANKEI SHIMBUN

発行所: ©産業経済新聞大阪本社 2005
〒530-8277 大阪市北区梅田2-4-9
☎ 大阪(06)6343-1221(大代表)

夕刊

鎮魂 復刻の街 確かめたくて 防災ウォーク71人家路

(2005.1.15 産経新聞掲載)

※インターネット公開不許可コンテンツ



「もしもの時は、自分の身は自分で守る」を合言葉に出発する参加者

大災害が発生した時、交通途絶で職場や学校から家に戻れない事態に備え、大阪の都心部から歩いて自宅などを目指す防災訓練「大阪防災Sウォーク」(実行委員会主催)が十五日、行われた。参加者のなかには阪神大震災を経験した人も多く、記憶と教訓を心に刻むように歩いていた。

SウォークのSはサバイバル、サポート、セーフティを表す。五回目の今年は、府内のほか、近畿各地や岡山市などの二十一歳から八十三歳までの七十一人が参加。午前九時すぎ、出

悲しみ胸に「家路ウォーク」

阪神 経験者も 一歩踏みしめ「家族守る」

発地点の大阪市役所前に集った顔を見て、わずかながらまり、まず震災の犠牲者にも励まされたものだった。黙とうした。このあと、スその思いを心に刻もうと毎タツプから非常食や水を受回、参加している。け取り、自宅に向けて出発。「これまでは家に居な家が遠方の人は神戸市中央った自分への悔いもあった区の「人と防災未来センターが、今は母や兄夫婦が家族を守ってくれたんだと思え」などをめざした。

兵庫県西宮市の会社員、松田信夫さん(61)は震災守ることで報いたい」と、時、出張中だった。急いで松田さんは心新たに一歩を戻った自宅は全壊してい踏みしめた。

た。妻子は無事だったが、初参加の会社員、和田京同じ敷地の別棟に住んでい子さん26は約五時間かた母と長兄夫婦をいちどきりで茨木市の自宅へ。「震に失った。悲嘆に暮れてい災を忘れまいという気持ちたとき、次兄とおいが高槻と、もしもの時の覚悟が体市から徒歩で駆けつけてき感できた」と話していた。

サバイバルウォーク(サバ)、大阪防災ウォーク(Swalk)

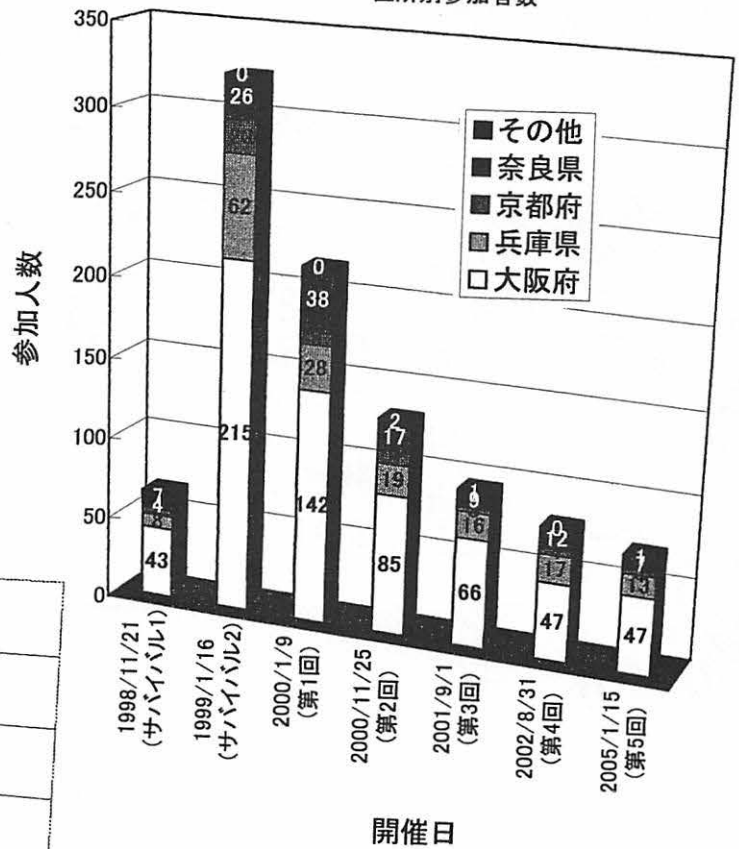
活動の歴史

年表

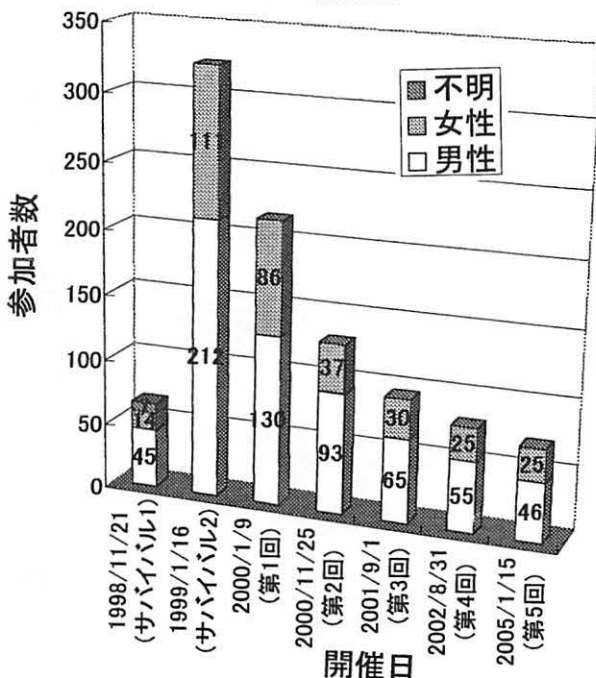
1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
★ 11/21	サバ1 ★ 1/16	サバ2 ★ 1/9	Swalk 1 ★ 11/25	Swalk 2 ★ 9/1	Swalk 3 ★ 8/31	Swalk 4	Swalk 5 ★ 1/15



住所別参加者数

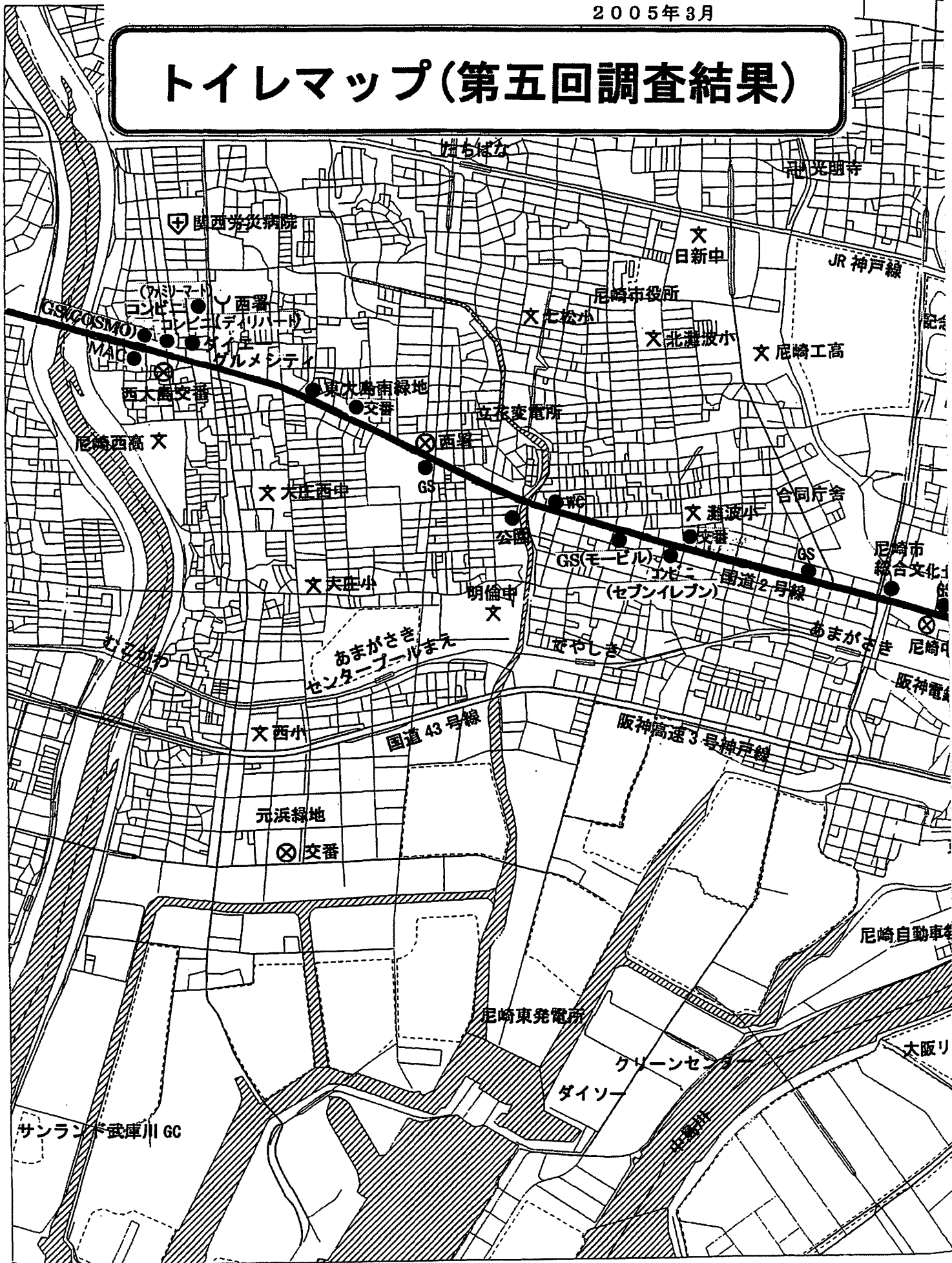


各回の参加者数推移



サバ
いばる

トイレマップ(第五回調査結果)

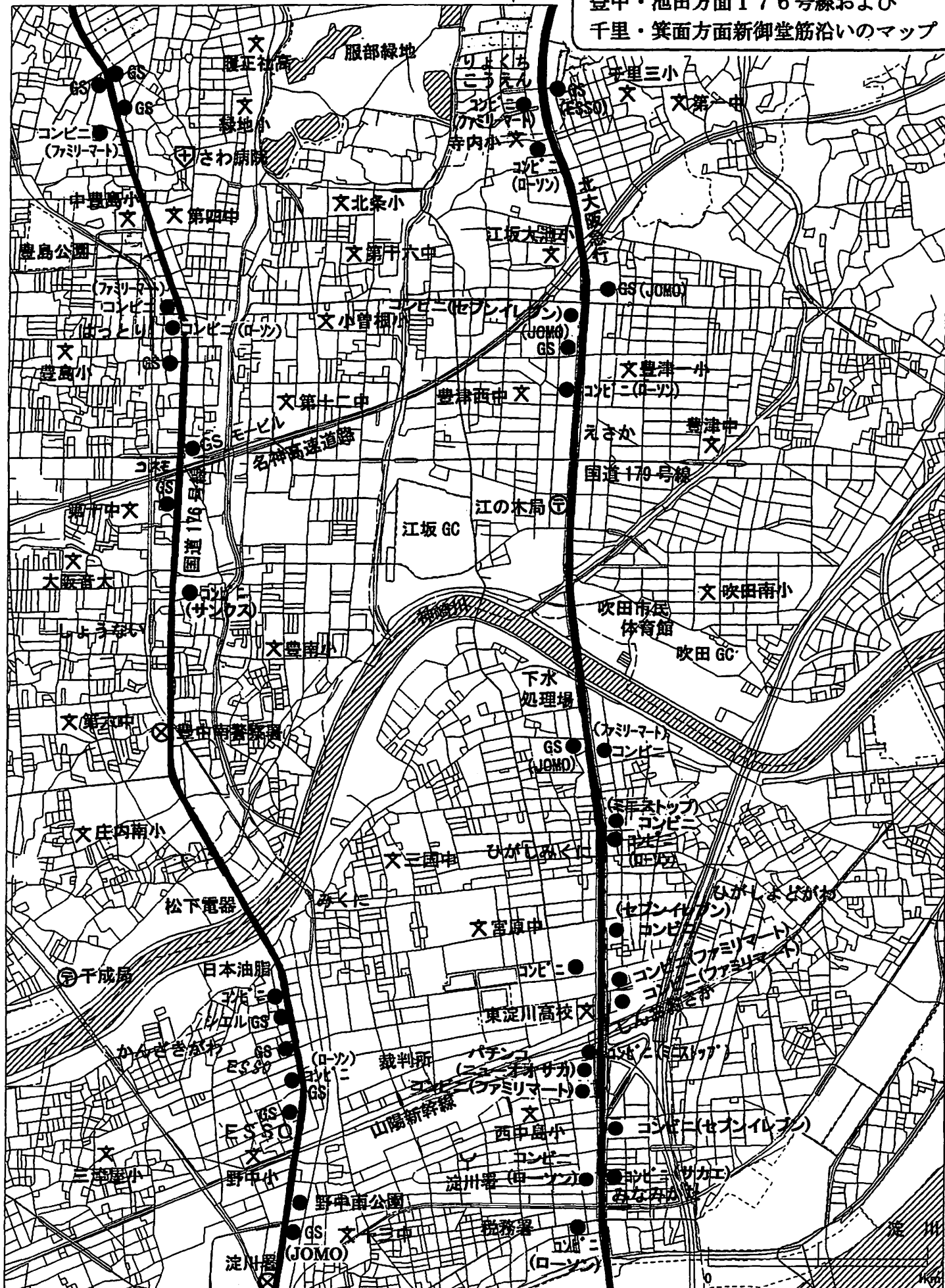


神戸方面2号線沿いのマップ

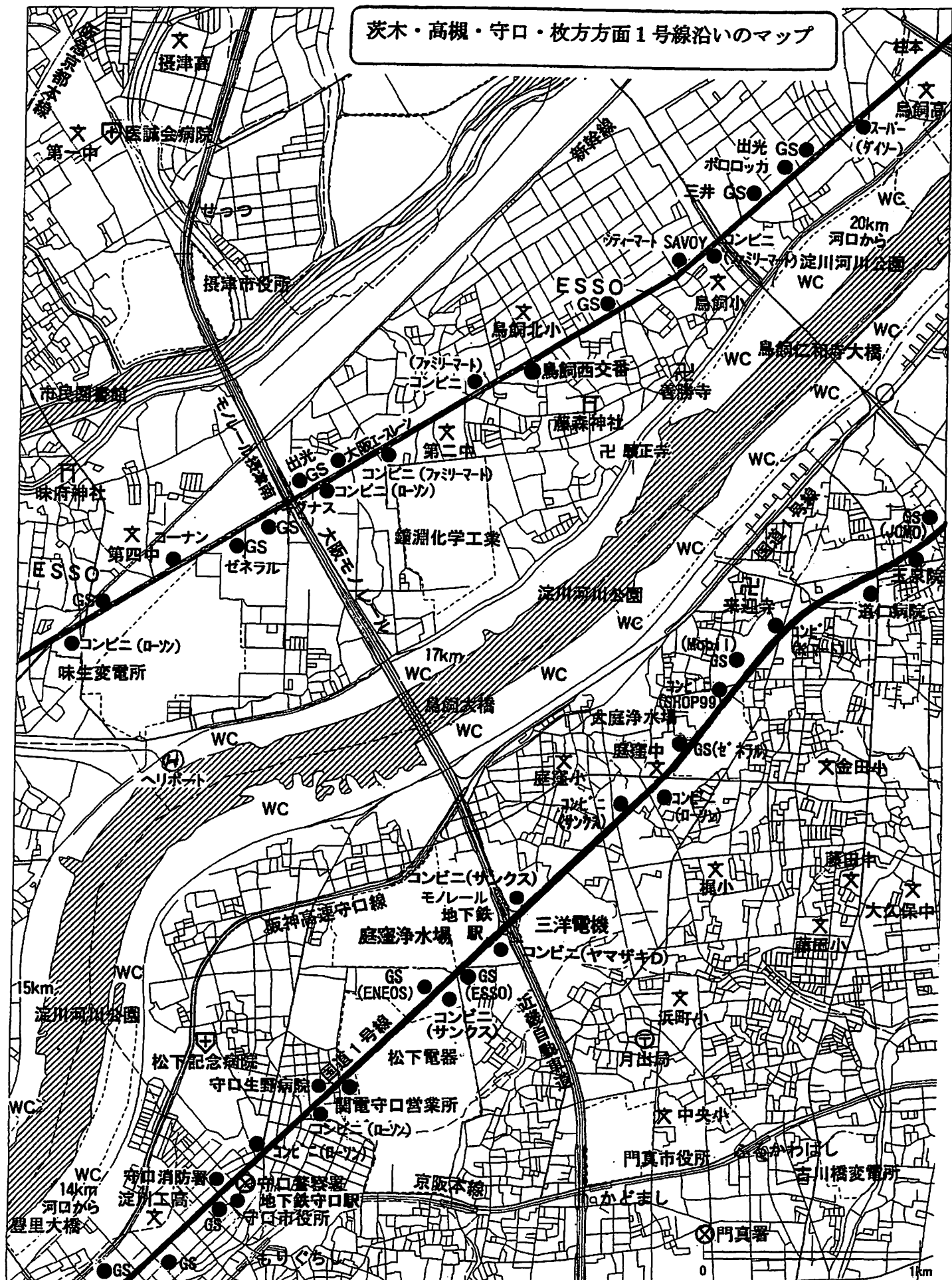


これまでの情報（第4回まで）に加え今回の情報も盛り込みました。その他、公共機関等も示しています。

豊中・池田方面176号線および
千里・箕面方面新御堂筋沿いのマップ

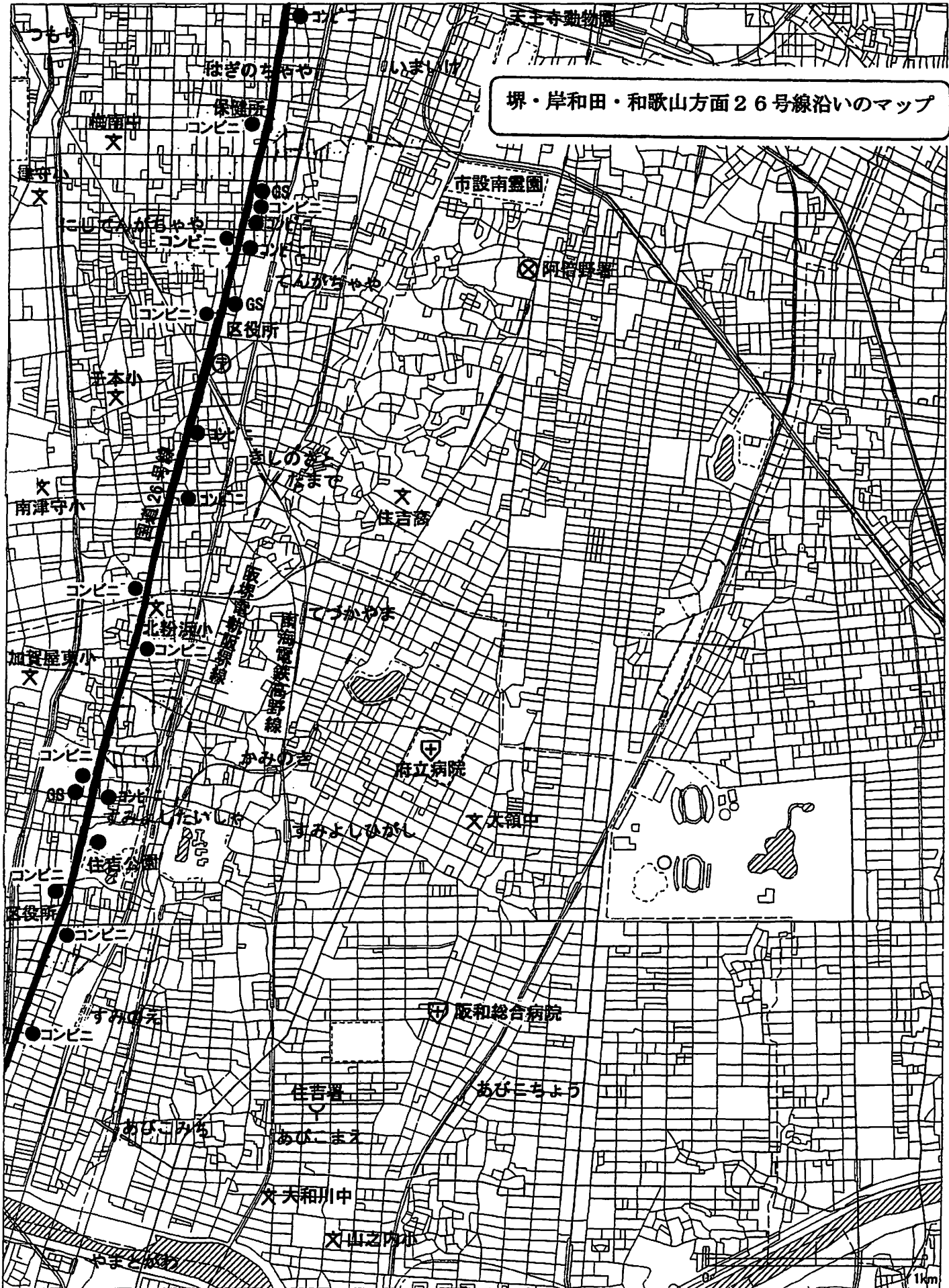


茨木・高槻・守口・枚方方面1号線沿いのマップ



(C) 1997 ZENRIN CO.,LTD.

堺・岸和田・和歌山方面26号線沿いのマップ



(C) 1997 ZENRIN CO.,LTD.

あとがき

阪神淡路大震災から10年が経ちました。表面的にはあの傷跡が消え去ったようですが、実際に歩いてみると未だに多くの爪あとが見受けられます。ましてや人の心にはまだまだ忘れられない記憶が刻み込まれたままです。そういう中で、あの体験は自分で出来ることは自分でやるしかないことも教えてくれました。

大阪防災Sウオークは自分の足で自宅に帰るということを実際にするということです。競技でもなければ、観光的なウォーキングでもありません。Sウオークは多くの方々の力強い支援やボランティアのスタッフによって実行されましたが、それはあくまでも支援体制であり、主体は今回記録を送ってくださった皆様方です。いつ起こるか分からない災害に対して常に緊張感を持って暮らすことは難しいのですが、これを機にご自分の周りを見直して頂き、今後も皆様方が折りにつけ防災への意識を持って、いざという時にご自分自身で行動されることをスタッフ一同願っております。

最後にご支援いただいた各種団体や会社の皆様と、貴重な時間を割いてくれたスタッフに感謝します。

第五回大阪防災Sウオーク事務局 圓丸 哲朗

● 編集後記 ●

3月末にと申し上げていた記録集、やっと完成しました。3ヶ月遅くなって誠に申し訳ありませんでした。

今回の記録集は、参加者の数も少ないので、いつもとは違って二段組から横書き一段とさせて頂きました。また過去のサバイバルウオーク、大阪防災Sウオークのデータも一覧にして記録として残せるものになりました。是非とも過去のウオークを振り返って頂きたいです。

最後になりましたが、春から初夏にかけて編集場所のご提供、また色々ご協力頂いた大阪府立健康科学センター様にお礼申し上げます。

記録集編集者を代表して 西野 稔

編集者それぞれからのひと言

- ・ROUTE2。太陽に向かって歩き続けた？ロードムービーのように (圓丸)
- ・今回はちょっと顔を出しただけ、口だけの参加でした (叶)
- ・あれから10年。「原点回帰」の年です (北島)
- ・心の中に防災意識「ある」と「なし」とじゃ大違い (田中)
- ・足掛け八年もうろく(誰がやねん)拾。還暦になりました (光川)
- ・都会では、短い距離でも課題満載(^o^)/ 喜んでどーすんねん (倭)

第五回大阪防災Sウオーク記録集

編集:圓丸 哲朗、北島 文、田中 妙、西野 稔、光川 寛、倭 明美 (叶 桂子)

協力:大阪府立健康科学センター



発行者：大阪防災Sウォーク実行委員会 事務局 圓丸 哲朗
〒658-0056 神戸市東灘区御影町御影城ノ前1470-3
TEL 078-851-8541 (事務局 圓丸)
FAX 075-393-0159 (事務局 光川)
【E-mail】 swalk@yahoogroups.jp
【公式HP】 http://www.geocities.jp/osaka_swalk/

発行年月：平成17年6月

頒 価：1,000円

印 刷：(株)かんでんエルハート